

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あいわの里アネックスセンター		
○保護者評価実施期間	令和7年1月4日	～	令和7年1月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 17名
○従業員評価実施期間	令和7年1月4日	～	令和7年1月25日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業所向け自己評価表作成日	令和7年1月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご家族様とのコミュニケーション、情報共有を大切にしていること。	必要な情報や、ご家族に確認しておきたいことがある場合、会議やミーティングで職員に周知することで、情報の大切さを理解し、情報の聞き忘れを防ぐようにしている。連絡帳でのやり取りや、送迎時のコミュニケーションを大切にすることで、ご家族の思いや悩み相談に職員も一緒に関わられるようにしている。	定期的な面談や茶話会などを実施することで、短時間では聞き取れないご家族の思いや気持ちを確認していきたい。
2	職員間の情報共有や連携体制がとれている。	日々のミーティングの中で、業務や活動に必要な情報の確認をしっかりと行っている。また、終業後に話し合う時間が十分に取れない為、その日のうちに個別に気付きのメモを取ることで、翌日のミーティングで問題点などの話し合いがスムーズに出来るようになっている。	会議資料や活動計画をしっかりと準備することで、効率良く業務分担や問題点の確認、対処が出来るようにする。お互いの仕事を把握、理解することで連携体制を強化していく。
3	活動スペースや設備が整っているため、幅広い活動を行うことが出来る。	毎月2回の会議で活動計画を職員全員で確認することで、活動スペースを有効活用することが出来る。活動に必要な物品の確認も行っているため、活動の幅も広がってきている。	使用が終了した活動用品の処分や片付けを定期的に行うことで、適切な環境を維持していきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	経験年数の短い職員が多く、行事の立案・実行や、問題解決に時間がかかってしまう。	参考出来る過去の事例や資料が残っていない。 (コロナ禍でここ数年、様々な行事が実施できていない)	必要な研修への参加や、勉強会を実施し、知識や経験を積み重ねていく。
2	職員は定期的に内部研修や避難訓練を行っているが、子ども達全員が経験できる体制になっていない。	平日の活動時間が短く、防災訓練を実施すると活動時間を確保することが出来ない。	防災訓練を活動として実施し、子ども達に分かりやすく、身につく内容になるように検討していく。 全ての子ども達が防災訓練を経験できるように、年間で複数回計画的に行うようにする。
3	ご家族と職員とのコミュニケーションは積極的に行われているが、家族間の交流や研修会等が実施できていない。	大きい行事になると、準備期間が長く、日頃の業務と合わせて準備を行うと職員負担が大きくなる。	茶話会等の準備に負担が少ない交流会の実施から進めていく。